

差別のない明るい町を

高齢者の人権



## 高齢者のための国連原則

平均寿命の伸びと出生率の低下により、急速に高齢化が進んでいます。また、少子化や核家族化などの社会環境の変化に伴い、一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が増加してきています。

これらの多いこれらの原則は「生活の質を高めるための視点」として必要です。各項目には、いくつかの細目がありますが、紙面の都合で細目一つずつを紹介いたします。

### ① 自立

社会というのは、人と人とのふれあいの場です。そして、私たちは誰しも歳を重ね高齢になっていきます。このことを考えると高齢者の人権は全ての人にかかわる問題といっても過言ではありません。

・高齢者は、収入や家族・共同体の支援および自助努力を通じて十分な食料、水、住居、衣服、医療へのアクセスを得るべきである。

### ② 参加

1991(平成3)年に国連総会で「高齢者のための国連原則」が採択され、各国のプログラムに本原則を組み入れることが奨励されています。

・高齢者は、社会の一員として、自己に直接影響を及ぼすような政策の決定に積極的に参加し、若年世代と自己の経験と知識を分かち合うべきである。

### ③ ケア

その原則とは、①自立、②参加、③ケア、④自己実現、⑤尊厳です。

・高齢者は、家族および共同体の介護と保護

高齢期において脅かさ

を受けるべきである。

### ④ 自己実現

・高齢者は、自己の可能性を発展させる機会を追求できるべきである。

### ⑤ 尊厳

・高齢者は、尊厳および保障を持って、肉体的・精神的虐待から解放された生活を送ることができなければならない。

子どもへのいじめや虐待が問題になっていきます。同様に、高齢者に対するいじめ、虐待も後を絶たない現状があります。

人権、それは人が人として大切にされる権利です。長寿社会の現在、子どもから高齢者までを含め、私たちは「人が最後まで、その人らしく生きるためにどうサポートしていくか」

「今、しなければならぬことは何か」に気づき、行動していかなくてはなりません。

## 市民文芸 花みずき歌壇(300) 松並敦子・選

一語一語ひとり一人の真心が涙となりし寄せ書き抱く

江田町 吉見 民子

《評》短歌のみでなく人形作家として、また小松島市の文化、商業発展のために身を惜しまずご尽力された吉見さんが、先日ご逝去された。快癒を信じ、待ち望んだ私たちの寄せ書きを涙して抱きしめ、病と闘ってくださったことに改めて感謝と哀悼の意を捧げたい。

衰えてゆく花もあれば蕾ありペチュニアの手入れ今朝もはじめる

田浦町 太田カツミ

生きることもう投げ出していいですか亡夫にたずねるきらめく星に

中郷町 東野 典子

時折に院外リハビリの日もありて青田の中の散策染しむ

立江町 浜 耕一

厄除けと屋敷に植えし柘榴の木水無月の風実花をゆらす

立江町 柳 ツギエ

二泊三日夫の郷里に招かれて親のルーツを語り合ひし夜

小松島町 川人 豊子

梅雨晴れに花壇のサルビアも暑そうに

雨が欲しいと弱音を吐いて

坂野町 橋本千代乃

本棚の隅より見付けし長女の字

ゆがみくねれど「みちこ」と読める

横須町 福島 夢栄

かわらずに花束届く五月晴れあなた自身がカーネーションです

横須町 山崎 泰子

のんびりと日々を送りて気のつけばおいてけぼれにされた歳月

立江町 湯浅かや子

市民文芸「花みずき歌壇」が300号に達した。295号まで担当した松並武夫が病に倒れ、急きよ松並敦子が継ぐこととなった。当欄は小松島市民の短歌愛好家の作品を掲載するのを目的としており、多くの方の作品をお待ちしている。

◆投稿先 〒773-0015 小松島市中田町千代ヶ原46-1

松並 敦子